

令和4年度第1回 鎌ヶ谷市子ども・子育て会議 会議録

1 日時 令和4年7月27日（水） 10:00～11:50

2 場所 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター3階 デイケア室

3 出席委員

山本幸子委員、鈴木智恵委員、池田京子委員、和田多恵子委員、渡部郷勝委員、渡邊輝江委員、長濱恵子委員、保高知子委員、大木亜都委員、小川輝雅委員、新沼佐紀委員

4 事務局

本間健康増進課長、今井こども支援課長、星こども支援課主幹、小川こども総合相談室長、櫻井こども発達センター所長、宮原幼児保育課主幹、道野辺保育園木村園長、大橋こども支援課副主幹、山崎子育て支援センター所長、松沼幼児保育課副主幹、林健康増進課母子保健係長、池田主事補（こども支援課）

5 記録 池田

6 傍聴者 0人

7 議題

- (1) 第2期子ども・子育て支援事業計画について
- (2) 令和3年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

8 配布資料

- (1) 委員名簿
- (2) 資料1 第2期子ども・子育て支援事業計画の中間見直し方針
- (3) 資料2 令和3年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況
【幼児期における教育・保育（子どものための教育・保育給付）】
- (4) 資料3 令和3年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況
【地域子ども・子育て支援事業】（子ども・子育て支援法第59条の規定に基づく13事業）

(5) 資料4 令和3年度子ども・子育て支援事業計画進捗状況
【その他施策について】

(6) その他資料 鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画

9 会議内容

《議題》

(1) 第2期子ども・子育て支援事業計画について

① 事務局より計画に基づき、概要を説明

その後、資料1に基づき、第2期鎌ヶ谷市子ども・子育て計画の中間見直し方針について説明

② 質疑応答

《中間見直しについて》

委員 これまでの実績を踏まえ、中間見直しの検討をしていくとのことであるが、現在の進捗など状況について伺います。

事務局 現在、10パーセント以上の乖離がある事業を含め、すべての事業について、これまでの実績を踏まえた要因分析、見直しを行う必要の有無について検討しております。その結果については、次回の会議にて、提示させていただくことを予定しております。

(2) 令和3年度子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

① 幼児期における教育・保育」の進捗状況

ア 事務局が資料2に基づき説明

イ 質疑応答

委員 令和4年度以降は、保育園、幼稚園の需要の見込みについて伺います。

事務局 現時点では、第2期鎌ヶ谷市子ども・子育て支援事業計画のとおりとなっておりますが、令和3年度までの実績を踏まえ、中間見直しに伴い改めて需要を確認し、今年度中に精査してまいります。

なお、令和4年度にふじ幼稚園が認定こども園となり、90名の確保を図っております。

委員 計画の見直しのスケジュールを教えてください。

事務局 9月～10月にかけて、計画の見直し（案）を策定し、11月以降に本会議にて、諮問させていただきます。

会議での答申を踏まえ、市長決裁のうえ、令和5年3月中頃までに見直

しを行う予定です。

なお、これまでの実績などを踏まえ、見直しの有無についても検討していくため、見直しをしない可能性もあります。

②「地域子ども・子育て支援事業」の進捗状況

ア 事務局が資料3に基づき、事業ごとに説明

イ 質疑応答

《事業① 利用者支援事業について》

委員 さまざまな支援があるが、特に母親への支援が多いように感じるため、父親への支援も必要と考えます。母親にフォーカスしている感じが見受けられます。

また、高校生などこれから親になる世代への支援も必要と思うが、どのような支援を行っているのか伺います。

事務局 利用者支援事業については、2つの事業があり「基本型」と「母子保健型」となっております。

基本型につきましては、父母関係なく、窓口で子育て支援サービスなどをご案内しているほか、パパサロンを実施し、父親の悩み等を共有する場も設けております。

母子保健型については、妊娠した際の母子健康手帳の発行時の面談等、母が中心となりますが、父母一緒に窓口にいらっしゃった際には、丁寧な説明をさせていただいております。

また、新型コロナウイルス感染症の影響から中止しておりますが、高校生を対象に乳児ふれあい事業を実施しており、乳児と高校生がふれあうことで、命の大切さや今後のライフデザインを考える場を設けております。

《事業⑥ 養育支援訪問事業について》

委員 地域の方同士で密接な関係をつくれておらず、子育てに悩んだりした際に、相談できる人が少ない状況です。

また、母が子育てに関する悩みが恥ずかしく、人に言えないということもあるため、こうした間に入ってくれる事業は、とてもありがたいと思います。

赤ちゃんを産んだ後、小学校・中学校までの地域に入ってくれる方がいると、父母の悩みが解消されるのではと思います。

事務局 こちらの事業は、健康増進課とこども総合相談室で連携をとり、赤ちゃんが生まれた時に不安があるご家庭をフォローしていく事業となっております。

小中学生につきましては、主任児童委員やこども支援課など関係機関と連携を図り、地域で支援を行っております。

また、各地区の児童センターやこども総合相談室でも家庭での教育の相談や育児相談・生活面での相談等も実施しているほか、相談者に必要な機関に繋げており、地域全体で支援を行っております。

《事業④ 子育て短期支援事業について》

委員 今後の取り組み内容で「利用者が利用しやすい体制を検討する」とあるが、「利用しやすい」とは具体的にどのようなことなのか伺います。

事務局 鎌ヶ谷市で契約している施設は2施設ありますが、1つの施設が新型コロナウイルス感染症の影響から、休所になっているため、実質1つの施設しか利用できていない状況にあります。

また、契約先は鎌ヶ谷市に限らず、近隣市の方も利用しているため、必ず希望日に利用できるという訳ではないため、利用者の方が利用したい時に利用できるように、施設と連携を図り体制を整え、利用しやすい体制を検討する必要があります。

委員 契約している施設は、2つとも鎌ヶ谷市以外であるが、今後、鎌ヶ谷市にはこうした施設ができる予定はあるか伺います。

事務局 その予定はございません。

《各事業について》

委員 各事業において、確保数を利用者数が下回っているものがあります。

必要な人が必要な支援を受けられるように、情報を積極的に発信するなど、体制を整える必要があるように思います。

事務局 情報発信については、ホームページの充実やアプリの見直しの検討を行っており、引き続き、必要な方が支援を受けられるように工夫していきます。

また、関係機関と連携を図り、サポートが必要な家庭に声をかけ、情報を発信していく体制が必要であり、各地区にて、子育て担当者会議を実施しており、主任児童委員や保健師・児童センターの保育士、保育園

の保育士等で、子育て情報の共有を行うなど連携を図り、必要な家庭に対して相談などを通して、必要な情報を発信しております。

《事業② 延長保育事業について》

委員 課題に「保育士等の確保」「質向上を図る」とあるが、私立保育園でも課題となっております。現在、延長保育の先生、特に有資格者のパートタイムの方を見つけるのが、厳しい状況であるが、公立保育園では、どのような対応をしているか伺います。

事務局 公立保育園でも、ホームページ等で継続的に募集をしているが、保育士の確保は厳しい状況であり、派遣などを活用し対応している状況にあります。

《事業⑩ ファミリーサポートセンター事業について》

委員 「会員」とあるが、こちらは申請が必要なのでしょうか。また、会費は払うのか伺います。

事務局 「依頼会員」「提供会員」ともに申請が必要であるが、会費は発生しません。

委員 ⑧-2 一時預かり事業と⑩子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）の違いについて伺います。

事務局 ⑧-2 については、幼稚園を利用している方を対象に、幼稚園にて預かりを行うものであり、⑩については、「依頼会員」「提供会員」による地域の子育て支援となります。

《⑧-2 一時預かり事業について》

委員 計画値と実績値を比べるとかなり減っているが、これは、幼稚園を利用する子どもが減っているため、預かり保育を利用する数が減っているということだと思うが、実際は、利用者が増えています。

お迎えの時間もギリギリな方が増えているほか、朝の預かりもとても増えているなど、職員の確保・負担が大きくなっています。

保護者のニーズにできていかないと、子どもの出生数も減っている中で、私立幼稚園はとても厳しく、子どもの数は減っているが、職員の給料は毎年上がっている状況であり、もう少し補助を出していただきたい。

事務局 幼児教育・保育の無償化に伴って、国からの助成が出るため、預かり

保育の利用者が増えたと考えられます。

預かり保育の運営については、鎌ケ谷市でも助成を行っているが、以前からも足りないという意見をもらっているため、今後、助成の内容について検討してまいりたいと思います。

委員 商業施設の方でも、一時預かり事業の大切さを感じています。

一時預かりを利用し、息抜きとしてママ友でランチに来る方が多かったが、新型コロナウイルスの影響でママ友ができず、一人で来る方が増えたように思います。

それでも、息抜きとして、一時預かりを利用する方は増えており、商業関係でみても、一時預かりはとても大切であると感じています。

事務局 保育園の一時預かりについては、保育園を利用していない方がリフレッシュのために利用することも可能となっております。

委員 「保育士の確保」という課題が多く出ているが、課題に対して、今後の取組内容に具体的な策がないと感じます。直近で何とかなる問題ではないと思うが、具体的な策を検討してほしいと思います。

また、補助金の話があったが、「保育士の確保」については、補助金だけでなく、近隣市に就職ではなく、鎌ケ谷市に就職したいと思ってもらうような対応が必要だと思います。

保育士の確保が難しい状況のなか、他の保育士への負担が増え、質の向上に繋がるのが難しい状況にあると思われまます。

事務局 保育士の確保については、千葉県では保育士処遇改善事業として、民間保育所に対して、上限2万円の補助を実施しています。鎌ケ谷市でも独自に1万円を上乗せし、補助を行っているほか、今年度より国の制度を活用し、月額3パーセントの処遇改善を行っております。

しかしながら、保育士の確保については、全国的な問題であり、難しい状況にあることから、引き続き、鎌ケ谷市としても創意工夫をしながら処遇改善を進めていきたいと思っております。他の具体的な方策について、検討してまいります。

③「その他関連施策」の進捗状況

ア 事務局が資料4に基づき説明

イ 質疑応答

委員 資料6の「すべての子ども達が健やかに成長できるための支援」の児童センターの取組内容に「子ども教室の事業中止」とあるが、感染対策

をしながら実施していかないと、ずっとできないままであるため、なんとか実施してほしいと思います。

事務局 現在も、感染者が増えており、厳しい状況であるが、今年度については、密にならないように内容を工夫しながら実施しております。今後も感染対策を講じながら、実施してまいります。

(3) その他

次回会議の内容、及び会議日程について説明した。

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証明するため、次に署名する。

令和4年9月21日

氏 名 和田 多 恵 子

氏 名 池 田 京 子